

【非常用持ち出し品について】

自宅から避難先に避難する時に**最初の1日**をしのぐために、必要な食料、飲料水、その他各個人・家庭の事情に合わせて必要なものをリュックサックなどにまとめておくものを非常用持ち出し品と言います。

常に目につきやすい場所に置き、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

非常用持ち出し品リスト(例)

- ◆飲料水 (ペットボトルなど)、
- ◆非常食 (乾パン、アルファ化米、缶詰など)
- ◆貴重品 (現金、印鑑、預金通帳など)
- ◆衣類 (着替えの上着、下着、防寒着など)
- ◆衛生用品 (歯ブラシ、タオル、ティッシュ、石鹸類など)
- ◆生活用品 (携帯トイレ、箸・食器類、コップ(水筒)、スリッパ、ビニール袋、筆記用具など)
- ◆医薬・救急品 (消毒薬、鎮痛剤、ガーゼ、包帯、マスクなど)
- ◆その他 (携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池など)
- ◆各家庭の事情に合わせたもの (粉ミルク、哺乳瓶、おむつなど)

避難所に備えている非常食などの備蓄品は、帰宅困難者や自宅が倒壊するなどの理由から、非常持ち出し品を用意出来ない人を優先に配布するもので、全員に配布出来るとは限りません。

★★非常用備蓄品★★

大地震が発生すると公的機関による支援体制が整うまで、3日間以上かかります。

そのため、自宅に**最低3日間以上**、最近では**7日間程度**の備蓄が必要とも言われています。自宅で生活を送る際に上記の非常用持ち出し品を**家で別に備えておく**ことを**非常用備蓄**と言います。必ず起こると言われている大地震の対策として非常用備蓄品を今から備えておきましょう。ローリングストック法での備蓄をお勧めします。

(ローリングストック法)

有効期限が迫ってきたら、その非常食を食べ、食べたら新たに買い足す。これを繰り返すことで常に新しい非常食を備蓄することが出来る。この「食べ回しながら備蓄する」事をローリングストック法と言います。

【参加者全員が消火器と煙体験訓練をしました。】

3月10日(日)に町内会館前において、防災訓練を実施しました。消防署のご指導により、昨年実施した訓練内容を繰り返えし行い、訓練した事が少しでも身に付けられるように、昨年と全く同じ内容で実施しました。町会長の挨拶のあと、煙体験や消火器訓練を参加者全員で行い、多目的ホールに入って坂本消防署の福本係長より、大地震発生に際しての心構えについての講話をいただき、最後に給食訓練で用意されたカレーライスを食して防災訓練を終了しました。



消火器の使い方の説明

参加者は55名、ほかに消防団12分団の応援参加、さらに中央斎場の中嶋主任が参加し、大震災が発生したら、中央斎場も一時避難所になる事の確認をしました。

【防災講話まとめ】

まず、大震災発生初期は、下水道の使用不能！周辺店舗商品の在庫切れ！など、避難生活では大変不自由な状況が予想されます。

救援物資が届くまでの期間は、避難の時に**自分で持ってきた物で間に合わせ**なければなりません。だから、手ぶらで避難しないように日頃から、非常時に持ち出す品を準備しておく必要があります。それが**非常用持ち出し品**です。

また、家が崩壊せず、自宅避難生活でも備蓄した品物での生活を強いられます。

それが、**非常用備蓄品**です。

災害がいつ発生しても、生活必需品はしっかり調べておきましょう。
(非常時持ち出し品については4ページ参照してください。)



消火器を手にする前に火事だぁーと叫ぶ！



初期消火訓練

【平成30年1月～3月活動日誌】

- 1月13日(日) 町内会賀詞交歓会
- 1月21日(月) 新春バスツアー
- 1月27日(日) 体育振興会主催ボウリング大会
- 2月18日(日) 町内道路清掃
- 3月2日(土) 子ども会歓送迎会
- 3月3日(日) 高齢者と若人の集い
- 3月10日(日) 町内防災訓練(1面に記事)
- 3月17日(日) 会館清掃、道路清掃
- 3月17日(日) 連町避難所運営訓練(於:桜小学校)



牛久大仏 胸の所までエレベーターでのぼりました。

【近々の予定】

- 4月13日(土)** 定例会のあと役員会(19時より6丁目町内会館に於いて)
- 4月14日(日)** 八重桜を楽しむ会(10時より坂本公園・樹木園に於いて)
内容については、掲示板をご覧ください。
大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。
- 4月21日(土)** 新組長会議(19時より6丁目町内会館において)
- 4月27日(土)** 総会(19時より6丁目町内会館において)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

【連合町内会3大行事日程】

詳細については、各実行委員会にて決定されます。

- 桜学区子ども相撲大会 5月18日(土) 予備日 19日(日)
- 大六天神社祭礼 8月10日(土) ・ 11日(日)
- 連合盆踊り大会 8月17日(土) ・ 18日(日)

今年の祭礼では、6丁目(6)が当番町会となっています。祭礼が成功するか否かは、6丁目にかかってくるので、町内会全体で取り組んで行きたいと思っております。皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

尚、盆踊り大会については、2020年度が6丁目(6)の当番町会にあたります。今年、副委員長として5丁目(5)のお手伝いをします。踊り手さんが大勢出まさんと盛り上がりません。こちらもよろしくお願いいたします。

【話題】

認知症の方と共に、私たちにできること 無料講演会開催

3月16日(土)にウェルシティ市民プラザ内の「まなびかん」において、「認知症の方と共に、私たちにできること」は何かについて学ぼうということで、講演会が行われました。

まず、基調講演として汐入メンタルクリニック院長の阿瀬川孝治先生から『**認知症フレンドリー社会を目指して**』と題しての講演を聴きました。その一部を掲載します。
“年とれば 誰でもなれる 認知症”・・・山口晴保先生

まさに、この詩のごとく、加齢とともに認知症有病率は上がっています。70代で**13.6%**、80代で**21.8%**、90代前半で**61%**、90代後半では**79.5%**です。上の数字を見ると、誰もが認知症の当事者の候補者と認識し、そうなったときに、どんな社会だったら安心して過ごせるかを考え、準備が必要です。認知症の発症を本人・家族の責任としないで、地域で支えていく～認知症フレンドリー社会を皆さんで築いていく事が重要です。①認知症の理解とその人格の尊重、②情報把握・伝達方法の工夫と日常の連携特に地域社会(近隣住民)との連携、いざという時の医療・介護・福祉の連携支援強化など、整えていくべき課題がいくつも地域にあります。

町内会でも考える機会があるといいですね。ミニ講演会を検討します。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

【チョイボラグループ立ち上げについて】

昨年(2018)から話題にしておりましたチョコットボランティア活動グループを2019年度に具体的に立ち上げる予定です。(チョイボラグループ)

すでに、一部の方からボランティアの要望があり、試験的に実施して参りましたが、1人1時間500円の料金が妥当との判断から、本格的に活動していきます。

まず、ボランティアを募集してチョイボラグループ(仮称:さかろくふれあいサポート)を結成します。募集期間、人員は特に決めず、いつでも誰でも参加出来る体制とします。

どんなボランティア活動をするかは、集まってきた皆さんと相談していきますが、お使いの代行、簡単な庭木の剪定、草刈り、庭の清掃、定期ごみ出し、などを考えています。

5月には回覧を回せるように準備していきます。皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

【防犯】

電話でお金の話が出たら、それは**詐欺**です！！

絶対にお金やキャッシュカードは渡さないで下さい。まず**警察に連絡**を！